

平和への 祈り

第四十二回 原爆殉難者慰霊祭

■とき／平成26年8月8日 午後7時
■ところ／原爆落下中心地（松山町・平和公園）
雨天の場合はカトリックセンター2階ホール
（上野町10-34）



■撮影場所：長崎市 大浦天主堂

主催/長崎県宗教者懇話会 主管/長崎県明るい社会づくり運動推進協議会
宗教・宗派をこえて、市民の皆様と共に原爆殉難者を追悼し、世界平和への願いを深めましょう。

◎会場には献花台の用意も致しております。

※第42回 原爆殉難者慰霊祭 ポスター

原爆殉難者慰霊祭 次第

開式の辞

合唱

お清めの儀

献水の儀

平和の灯

慰霊のことば

黙とう

浦安の舞奉奏

慰霊電文披露

代表者献花

閉式の辞

長崎の祈り合唱

参列者献花



✳ 慰霊祭祭典に先立つ能舞の特別奉納
右:長崎諏訪神社に伝わる伝統能「諏訪」
左:長崎の原爆災害を背景にした新作能「長崎の聖母」
(シテ方 清水實二氏「観世流」により奉納された)

被爆69周年 第42回原爆殉難者慰霊祭



＊原爆落下中心碑に設けられた祭壇



平成26(2014)年8月8日(金)／長崎市・原爆落下中心地に於いて

※毎年8月9日の前夜(8月8日)に長崎県宗教者懇話会主催で、原爆殉難者慰霊祭を行っている。

開 式
開式の辞、奉納、合唱……



＊開式の辞：大音寺住職 本原大義 師

＊コーランの朗唱に合わせて捧げられた「イスラムのシエマ（奉納の舞）」今回は、恒例の諏訪神社巫女による「浦安の舞」に代えて奉納された



＊天理教雅楽隊による雅楽 奉納



＊総司会者：浅田真澄 氏



＊合唱 長崎カトリック合唱団、ルンビニーコーラス、PLコーラス、佐世保女子高校久田学園による合同の合唱団
指揮：カトリック天神教会 平本義和 師／オルガン伴奏：川脇綱代 氏



＊讃仏歌（三帰衣）を先導する
法生寺住職 神崎正弘 師

開式前の風景
受付、参列者の方々……



＊受付での様子



＊お久しぶりに会われる方々も



＊天理教長崎教区による「お清めの儀」

「お清めの儀、献水の儀
宗教、宗派を超えた儀式」



＊日本聖公会主教等による「献水の儀」



「国内外からの来賓や、
多数の要人、一般の市民が参加」

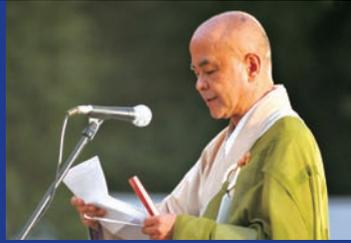


＊釈尊鑽仰会 会員の皆さん（前列）と一般の参列者の方々

慰霊のことは
各宗教者・団体の方々より貴重なお言葉を頂きます



✳️ バチカン教皇庁諸宗教対話評議会
インドゥニル・カンカナマラグ次官補神父



✳️ 黄檗宗興福寺住職
松尾法道 師



✳️ 世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会
日本ムスリム協会理事 樋口美作 師



✳️ 世界連邦日本宗教者委員会 会長
田中恒清 師

平和の灯
立正佼成会青年部



黙とう

全参列者による原爆殉難者への祈り



来賓、宗教者による
代表者献花



一般参列者献花



閉 式

閉式の辞、「長崎の祈り」合唱



✳️ 閉式の辞
カトリック上神崎教会
橋本 勲 師

▼シンポジウム登壇者



長崎総合科学大学教授
ブライアン・パークガフニ師



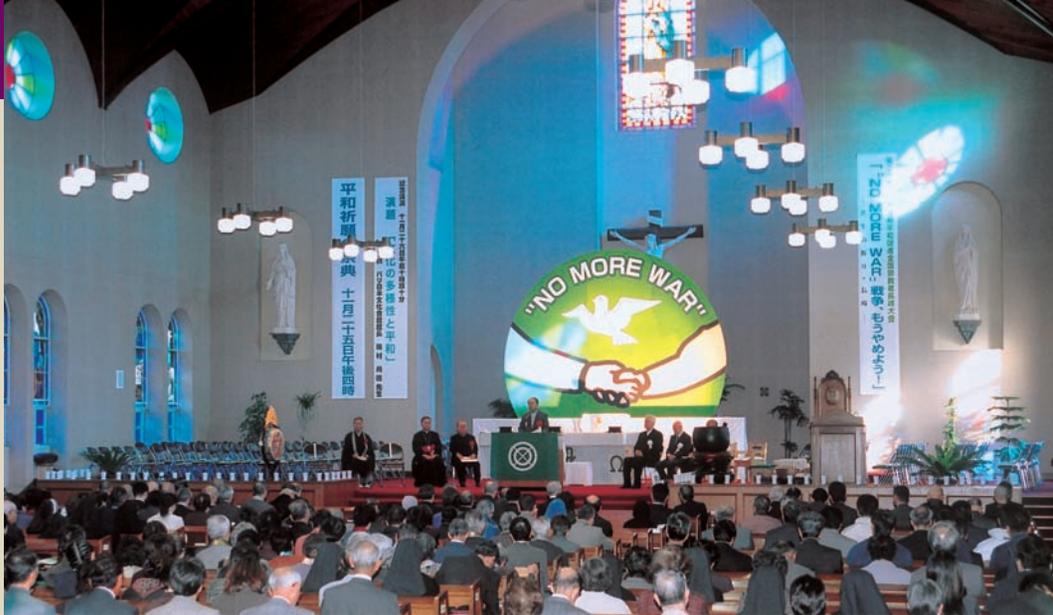
浄土宗九品院住職
小田義海 師



日本ムスリム協会名誉会長
樋口美作 師



ノートルダム清心学園理事長
シスター渡辺和子 師



▲各教団代表による献花



記念講演者 磯村尚徳 師

第25回 世界連邦平和促進
全国宗教者長崎大会
平成15(2003)年11月25～26日

於カトリック浦上教会及びカトリックセンター
主催：世界連邦日本宗教委員会
共催：長崎県宗教者懇話会／カトリック長崎大司教区

東日本大震災一周年にあたり、追悼と再生を願う
合同祈禱集会 平成24(2012)年3月11日

於 カトリック浦上教会
主催：カトリック長崎大司教区・長崎市内プロテスタント諸教会
共催：長崎県宗教者懇話会



▲合同祈禱集会に参加した聖職者たち

東日本大震災慰霊記念式典

平成26 (2014)年3月9日 於 カトリック浦上教会 / 主催:長崎県宗教者懇話会



▲式典を執行した聖職者たち



▲田上長崎市長立ち合いのもと、慰霊祭での献金を長崎大学医学部の高村昇教授へ受け渡す場面

比叡山宗教サミット22周年 世界平和祈りの集い

平成21 (2009)年8月4日 於 天台宗 比叡山延暦寺 (滋賀県大津市) / 主催:天台宗国際平和宗教協力協会

1986年10月、ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世の提唱により世界の諸宗教指導者がイタリアのアッシジに集いました。翌年には、比叡山にて第1回「比叡山宗教サミット(世界宗教者平和の祈りの集い)」が開催されました。現在も毎年開催され、長崎県宗教者懇話会も参加しています。



終戦五十周年 広島・長崎宗教者 バチカン平和巡礼

平成7(1995)年7月3日~13日



▲聖ペトロ大聖堂で、
教皇ヨハネ・パウロ2世と謁見

▼聖ペトロ大聖堂前広場にて



▲ポーランド・クラクフにて

▼バチカン広場にて



▲バチカン・パウロ6世謁見ホールで
ローマ教皇をお待ちする参加者



▲ローマ教皇との謁見

▼フィレンツェにて



▲アッシジの聖フランシスコ教会で

終戦六十周年 広島・長崎宗教者
バチカン・イタリア平和巡礼の旅
平成17(2005)年8月23日~30日

▼インド門 (1911年英国王ジョージ5世とマリー王妃のインド上陸記念)



▲タージ・プレジデント (1月24日泊)

インド仏跡巡拝と宗教見聞の旅

平成19 (2007)年1月17日～26日



▲コルカタ・マザーテレサの修道院。マザーテレサの遺体が安置されている白亜の大理石の棺の周りで



▲聖地ブッタガヤ (釈尊が6年間修行した場所)



▲聖地ベナレス ガンジス河 船上にて

トルコ・イスラームへの 巡礼・平和交流の旅

平成22 (2010)年10月11日～18日



▲記念品を頂く



▲訪問団旗



▲世界遺産のカップドニアを訪問



▲トルコの高校の校長先生と



▲ブルーモスク前広場で。葉山総代・長崎被爆者・指導者と



▲ギリシャの高官と面会



▲イスラム教指導者のお話を拝聴

〔新米国駐日大使〕長崎への特別訪問
キャロライン・ケネディー大使
 長崎県宗教者懇話会との面会を求めて
 平成25(2013)年12月10日 於 カトリック浦上教会



▼日本人とわかると親しそうに話しかけてくるトルコ子供たち



▲トルコの街並み

平成23(2011)年12月15日〜22日
**妙行寺、諏訪神社一行による
 トルコ・イスラームへの表敬訪問**



▲妙行寺一行



毎年・春、広島・長崎で交互に会場を移して行われる 広島・長崎宗教者平和会議

※広島・長崎宗教者平和会議は、昭和60(1985)年2月26日
第1回目の会議が広島会場で行われた。



▲第21回 平成18(2006)年2月6日 [長崎 中町教会]



▲第27回 平成24(2012)年2月21日 [立正佼成会会長崎教会]



▲第25回 平成22(2010)年2月22日 [長崎 諏訪神社]



▲第28回 平成25(2013)年2月12日 [広島平和公園]

第5回 核兵器廃絶— 地球市民集会ナガサキ

平成25(2013)年11月2日~4日

於 長崎市平和会館

主催:核兵器廃絶地球市民長崎実行委員会



▲神崎正弘師が実行委員の時に、主催者から譲り受けたポスタの一部

「核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」は平成12(2000)年から開催され、現在までに5回行われています。「長崎を最後の被爆地に」という願いに、長崎県宗教者懇話会からも、代表者1名が実行委員として参加しています。(上杉千郷師をはじめ、神崎正弘、野下千年師と現在に至る)

参加行事「原爆落下中心地での24時間連続平和祈願祭」でのエピソードを紹介します。

各教団に参加をお願いし1回2時間を受け持って頂きました。日中は暑く寺院のご住職が熱中症になったり、夜半は逆に寒く、業務用のパーカーをお借りし祈りを続けましたが、関係者の方が調子が悪くなられて大変な事がありました。また、参加者・ご関係の方々に差し入れを頂いたりと色々なご協力を頂きました。この場にて感謝申し上げます。また、参加者への記念品が不足しご迷惑をお掛けしたこともあり、申し訳ない気持ちでした。(この24時間連続平和祈願祭は市民の注目をあびました。)

長崎県宗教者懇話会は、これからも協力して行く予定です。皆様のお力添えをお願いし、ご報告とさせていただきます。(真宗大谷派 法生寺住職 神崎正弘)



▲開会式における長崎宗教者懇話会メンバーによる平和の祈り(写真提供:川上正徳氏)

ハワイ巡礼 〔米国〕・パールハーバー 記念式典への参加

平成24 (2012) 年12月8日

企画：世界連邦日本宗教委員会



▲パールハーバーでの祈念式典で「平和の祈り」を行う、長崎県宗教者懇話会代表の野下師



▲「硫黄島にある海兵隊記念碑」の複製があるハワイ島カネオヘで

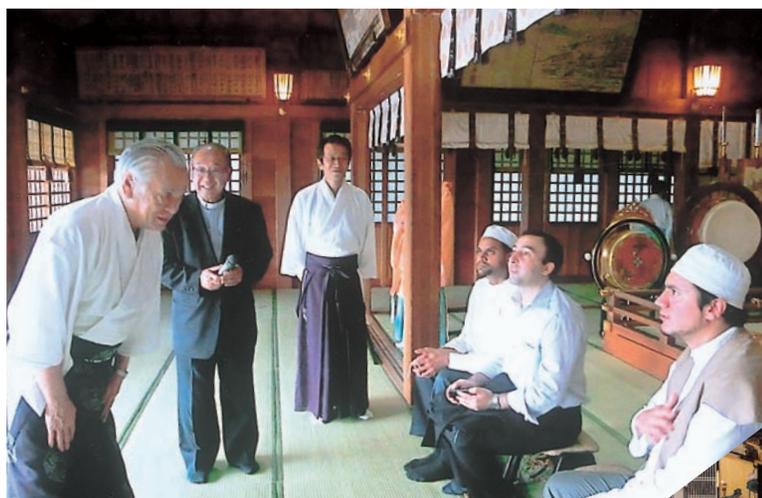


▲世界連邦日本宗教委員会の企画による平和使節団に、長崎県宗教者懇話会からも参加

※ハワイのアリゾナ記念館館長、カミズ氏 (1983)、ドナルド・E・マギー氏 (1992)、リビングス氏 (2002)、ダグラス・A・レンツ氏 (2005) などが、原爆殉難者慰霊祭へ参加した。



▲カトリックホノルル教区ラリー・シルバー司教 (後列の中央) を表敬訪問した世界連邦日本宗教委員会の会員たち
写真は平成 23 (2011) 年 12 月 9 日



▲▼平成 25 (2013) 年 8 月 8 日
諏訪神社での交流の様子



〔トルコ・イスラムとの交流〕 トルコからの宗教者一行 長崎の宗教施設を訪問

※ 8 月 8 日の原爆殉難者慰霊祭当日、長崎市内の宗教施設を訪問



▲雅楽部が演奏する日本古楽に、トルコ・モスレスの皆さんがコーランを調合わせをして奉唱した
平成 23 (2011) 年 8 月 8 日 妙行寺にて

〔エジプトとの交流〕エジプト駐日大使 ヒシャム・エルゼメティー大使長崎へ

平成25(2013)年3月24日



▲エジプト駐日大使とともに諏訪神社への表敬訪問



▲▼宗派の垣根を越えて平和への祈念を捧げた
平和公園での記念撮影、大使による献花



バチカン諸宗教評議会議長 歓迎 ジャン・ルイ・トーラン枢機卿

平成21(2009)年8月7日

於 長崎・サンプリエール会館 / 主催:長崎県宗教者懇話会
トーラン枢機卿講演「宗教間対話について」



▲トーラン枢機卿(左)と高見大司教



▲宗懇メンバー多数参加、平和の祈りで開会した

駐日バチカン大使 歓迎 チェノットウ大司教

平成24(2012)年6月10日

於 セントヒル長崎
主催:カトリック長崎大司教区
日本26聖人殉教者列聖150周年記念夕食会

▶チェノットウ大司教(前列中央)を囲む
長崎県宗教者懇話会の会員



インド・ネール首相が長崎へ贈った仏舎利 奉安式挙行

於 平和公園 / 主催:長崎市仏教連合会

平成25(2013)年11月16日



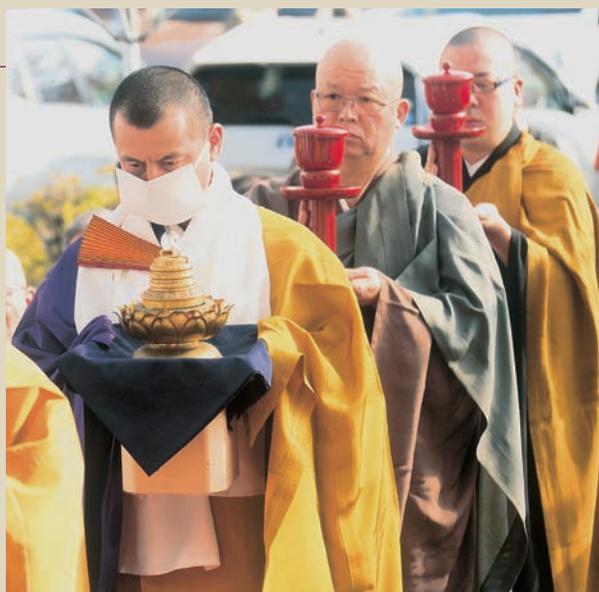
▲カトリック長崎大司教区
高見三明 大司教



▲田上富久
長崎市長



▲長崎市仏教連合会
楠 達也 会長



▲平和公園内の長崎市原子爆弾無縁死没者追悼祈念堂に
奉安された

インドのネール元首相が原爆犠牲者の慰霊と世界の恒久平和を願い、長崎へ贈った仏舎利が60年の歳月を経て、市民の目に見える場所「平和公園」に奉安されることとなった。

楠達也長崎市仏教連合会会長の導師のもと、各派市内寺院住職らが出仕して法要が勤められた。参列者を代表して長崎県宗教者懇話会顧問の高見大司教は「仏舎利が皆様の目に見える形となり、平和な心をつくることにつながれば」と宗教の枠を超えてお祝いの挨拶。田上市長は、「様々な経緯を経てきたが、これを機に、ここが多くの皆さんにネール首相の思いや、お釈迦様の思いが伝わっていく場所になればうれしい」と語った。

長前の事件現場での慰霊

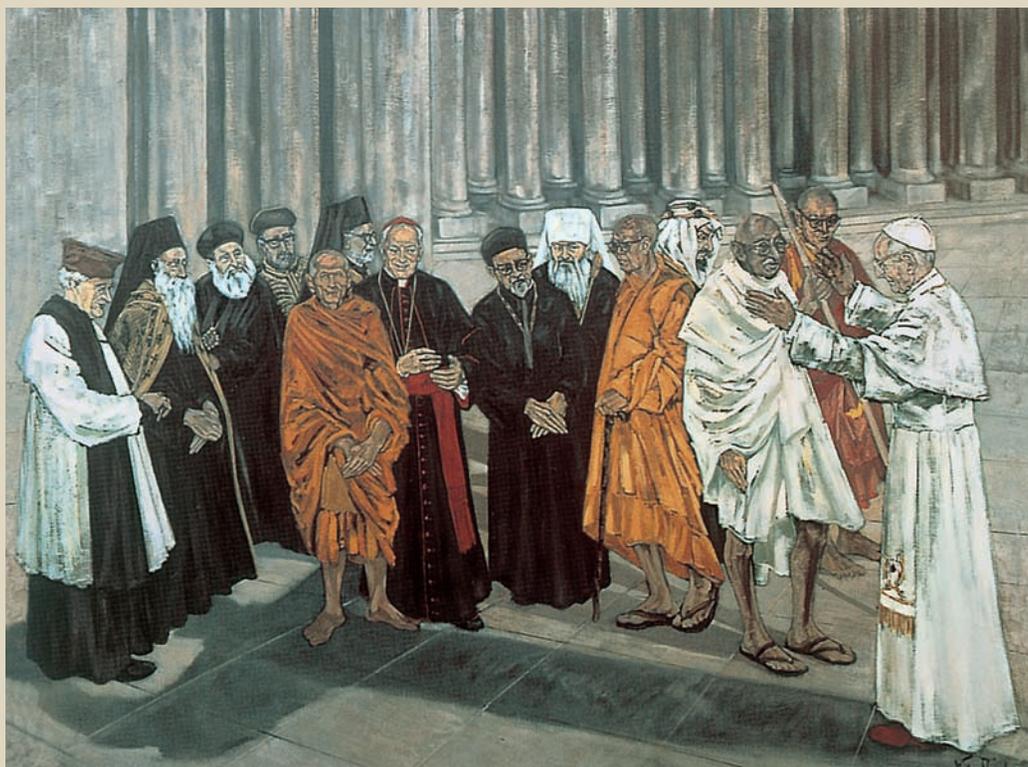


(写真提供:法生寺住職 神崎正弘)

故元長崎市長 伊藤一長
銃撃現場法要

平成19(2007)年6月2日

宗教間の友好を願って制作された絵



▲フランス人画家 DOLORES PUTHOD 画
バチカン教皇庁諸宗教対話評議会 蔵 (事務局の大応接間に掲げられてる)

この絵は、第二バチカン公会議によって打ち出された諸宗教対話の精神に共鳴し、宗教間の友好を願って、フランス人女流画家ドロール・プートー氏によって描かれ、1978年パウロ六世教皇に寄贈されたものです。現在は、教皇庁諸宗教対話評議会事務局の応接間に掲げられています。

画面には、公会議を主導したパウロ六世教皇のもとに集う世界の宗教者たち、ギリシャ正教会、聖公会、プロテスタントなどのキリスト教指導者やヒンズー教、仏教、イスラム教の代表者たちが描かれています。パウロ六世教皇の影は十字架の形をしており、キリストの現存を感じさせます。

1986年、ヨハネ・パウロ二世教皇はイタリアのアシジに世界の宗教者たちを招待し、「世界平和の祈りの集い」を開催しました。それは、この絵に描かれた様が現実のものとなるようにとの、願いが込められています。

「お坊さん、神父さん、神主さん みんな仲良し」



入口茜ちゃん（カトリック中町教会所属）
作成のフェルト画



長崎の祈り

教会と

寺と神社の

音和して

清らに明ける

長崎の朝

平和を祈る

長崎の街

平和を告げる

長崎の空

空下千年作
前の敦子ま

提唱 長崎県宗教者懇話会

写真は長崎市南山手地区実景からイメージ構成
(左から大浦諏訪神社、大浦天主堂、妙行寺)